

# たけふ

TAKUSUI  
No. 770

12  
December.2020

発行 (一財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



虹の仲間で森づくり (神戸市西区)

## 漁港漁場整備全国集会への参加と政府等への予算要望活動 但馬産松葉ガニ普及推進協議会による松葉ガニPR

### 《今月の海上安全標語》 ～ 深酒に注意 ～

遅くまで飲酒をした次の日の朝、自分では酔いが覚めたつもりでも、体内にはアルコールが残っていることがあります。翌日に仕事があるときは、なるべく深酒せず、早めに切り上げるようにしましょう。

**気をつけて 前夜の飲酒も 怪我のもと** では、今月も安全操業で!



# ようそろ

「ずっと真つ直ぐに」

(ようそろとは航海用語で「宜しく候」の意。主に船を直進させるときに号令として使われる)

## 忙しいときこそ、深呼吸

日本漁船保険組合 兵庫県内海支所 審査部主任 **青木 美奈**

皆様、こんにちは。日本漁船保険組合の青木と申します。平成26年12月に入組させて頂き、早6年が経ちましたが、今後とも宜しくお願いします。



ところで、このコロナ禍において、空前の大ブームを巻き起こしている映画『鬼滅の刃』を皆様、ご覧になりましたでしょうか？描写が少し過激なところもあり、私は敬遠していたのですが、家族で見に行くことになり、ようやく漫画を手に取りました。お話の中に、「全集中の呼吸」という力が強くなったり、体の回復を早めたりできる呼吸法が出てくるのですが、現実に「全集中の呼吸」をマスターできれば、身体に良い変化があるのではと思います、少し呼吸について調べてみました。

四六時中休むことなくしている呼吸ですが、心身が緊張した状態のときは浅く短くなっており、逆にリラックス状態のときには深くゆっくりになっていくそうです。浅い呼吸は、血液中の酸素不足を引き起こし、脳や自律神経に悪影響を及ぼし、身体に不調が現れます。反対に深い呼吸は、血流量が増え、全身の細胞の活性化につながるため、免疫力の向上にもつながるそうです。その他にも、女性にうれしい便秘改善・冷え性改善効果もあるようです。

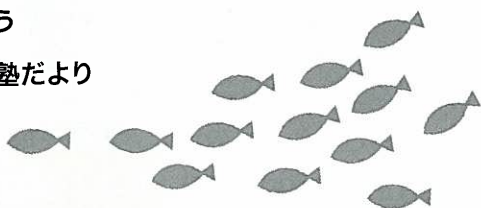
「全集中の呼吸」は相当な訓練が必要でマスターできませんが、1日の数分間だけでも、意識的に深呼吸（腹式呼吸が良いようです）することを心掛けるだけで、効果はあるようなので、コロナ禍でストレスフルな今こそ、取り入れてみてはいかがでしょうか。

2020年は新型コロナウイルスに翻弄され続けた1年でしたが、2021年は、感染終息に向けた明るく希望のある1年であることを祈って、結びとさせて頂きます。

## CONTENTS

No.770 December, 2020

- 2 ようそろ
- 3 漁港漁場整備全国集会への参加と政府等への予算要望活動
- 4 兵庫県水産振興議員連盟役員へ要望書提出  
虹の仲間であそび
- 5 但馬産松葉ガニ普及推進協議会による松葉ガニPR  
海難事故をなくそう
- 6 兵庫県知事メッセージ
- 7 兵庫JCC通信
- 8 旬に想う  
大輪田塾だより



### 表紙の言葉

#### 「虹の仲間であそび」(神戸市西区)

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して「虹の仲間であそび」が開催されました。

豊かな森に降った雨は、地表に積もった腐葉土を通過して大地にしみ込み、川の水となる過程で豊かな栄養を含み、この栄養豊かな水が海に注ぎ込むことにより、多種多様な生物をはぐくみ、豊かな海づくりにつながります。

JFグループ兵庫では、豊かな海を次の世代に引き継いでいくため、「豊かな森が豊かな海を育てます」を合言葉に、植樹活動を中心に、森づくりに取り組んでおります。(関連記事4項)



# 漁港漁場整備全国集会への参加と 政府等への予算要望活動

（漁港漁場整備全国集会への参加）

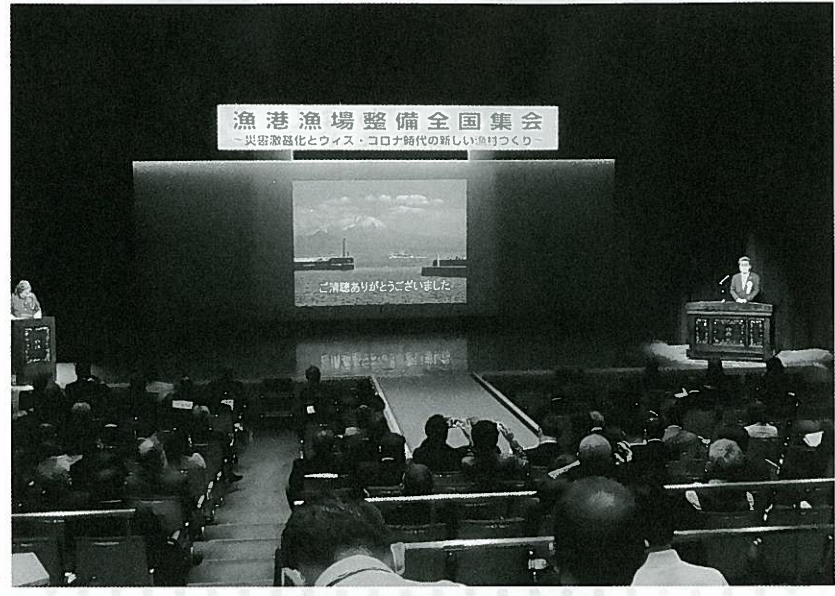
10月29日（木）、午後1時から東京都港区東新橋のニッショーホールにおいて、漁港漁場整備全国集会が開催され、兵庫県漁港漁場協会から浜上勇人会長（香美町長）をはじめ5名が参加しました。

当初の計画では、「第71回全国漁港漁場大会」を函館市で開催予定でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け中止となり、大会に代えて全国集会を開催することになりました。各県協会の参加者は4〜5名に制限され、約250名が参加し、入場時の体温測定、手指の消毒、マスクの着用、座席は完全指定席など徹底したコロナウイルス感染防止対策が取られました。

橋本牧公益社団法人全国漁港漁場協会長による主催者挨拶、宮内秀樹農林水産副大臣、衛藤征四郎漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長などによる来賓挨拶があ

りました。

水産庁漁港漁場整備部長から「豊かな漁村づくりを目指す」と題し、次期漁港漁場整備長期計画の策定についての講演があり、引き続き焼津漁港及び小田原漁港の取り組み等について意見発表がありました。

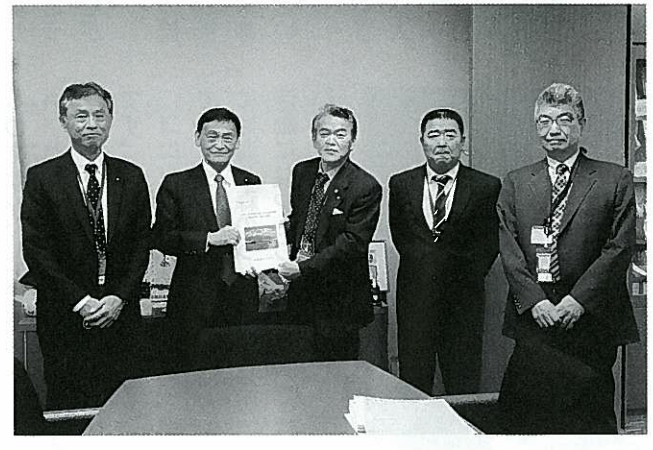


（政府等への予算要望活動）

そして、「令和3年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する提言」が採択され、政府及び各都道府県の地元選出国會議員に働きかけ、提言事項の実現に努めることとなりました。

全国集会の終了後、令和2年度漁港漁場功績者等の表彰式が行われ、午後3時に閉会しました。

引き続き、全国集会で採択された提言及び書面決議で行いました兵庫県漁港漁場大会で決議された4項目について、浜上会長、田沼副会長及び関係者が衆議院議員及び参議院議員の兵庫県選出国會議員に要望活動を行い、午後4時20分過ぎに終えました。









## 但馬産松葉ガニ普及推進協議会による

## 松葉ガニPR

但馬地域における漁業者、水産加工業者、観光事業者などの地域の関係者がワンチームとなり、但馬産の松葉ガニの魅力を発信する但馬産松葉ガニ普及推進協議会（川越一男会長）が、8月25日（火）に設立されました。

津居山、柴山、香住、浜坂の各港で行われている、松葉ガニの選別や鮮度保持、調理法へのこだわりをより効果的にアピールするため、設立初年度はロゴマークの作成に加え、都市部でのデジタルサインエージ広告、大型スクリーンへの掲載やチラシ配布、メディアを通じたPR活動などに取り組んでいます。

今後も様々なPRを実施し、4港で水揚げされるバラエティー豊かな松葉ガニの、さらなる知名度向上を目指します。今年も順調な水揚げが続いており、観光事業者もしっかりと営業を続けていますので、ぜひお越し下さい。

（文：但馬水産事務所）



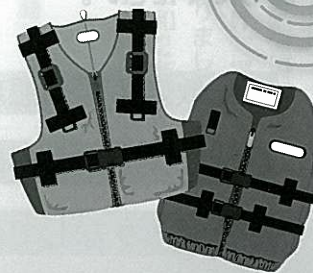
今年の冬も、但馬に「かに食べに来なったら。」



# 海難事故をなくそう!

## ライフジャケットを着用しよう!

ライフジャケットを着用することで助かる可能性は飛躍的に向上します。自分自身のために、そして、家族のために是非、着用してください!



## 揚収中の事故を防止しよう!

揚収中の多くの事故は、漁網等の整理作業に集中している状況で、回転中の揚網機等に接近、もしくは手を近づけたことにより発生しています。予期せずとっさに手を伸ばしたときの事故を防止するために、

- ・網やロープの逆巻きの未然防止に努めましょう。
- ・ローラの緊急停止装置や網の固定専用機器を導入するなど、安全性向上に努めましょう。

ケガをせず漁から戻ってくることを家族は待っています。



兵庫県知事からのメッセージ

# 最高警戒レベルの 「感染拡大特別期」です

兵庫県内の新型コロナウイルスの新規感染者は、クラスターの発生などにより、1週間平均で1日100人を超える状況が続いており、今ここで、感染拡大を食い止めなければなりません。

家庭や職場、医療機関、社会福祉施設などで多くの患者が確認され、全国的にも感染が拡大傾向にある中、特に次のことに注意してください。

皆様や大切な方の生命・健康を守るためにも、皆様一人ひとりが「うつらない・うつさない」との強い思いで取り組むことが大切です。一層のご理解、ご協力をお願いします。

兵庫県知事

井戸敏三

## 「5つの場面」に注意

感染リスクが高まるとされる次の「5つの場面」と、その後の自身の体調や行動に注意してください。

1 飲酒を伴う懇親会等



2 大人数や長時間に及ぶ飲食

3 マスクなしでの会話



4 狭い空間での共同生活

5 休憩室、喫煙所、更衣室等



## 外出自粛などの要請

- 東京、大阪など、感染拡大地域への不要不急の往来を控えてください。特に若者は注意してください。
- 年末を控え、できるだけ不要不急の外出を控えてください。特に、高齢者、基礎疾患のある方は、不要不急の外出を控えてください。
- 感染防止策がなされていない、県内外の感染リスクの高い施設（接待を伴う飲食店、酒類の提供を行う飲食店、カラオケなど）の利用を控えてください。
- 飲食店を利用する場合は、家族や介助者等を除き「4人以下の単位」ごとになるようご協力をお願いします。

## 地域に密着し 必要とされる事業で 次世代とのつながりをつくる

JA丹波ささやまは、丹波篠山市から学童保育事業を受託し、児童クラブを運営しています。

JAでは、平成14年に合併し18年の支店統合によって空いた施設を活用して、地域に役立つ方法がないか模索していました。一方で、地域には核家族化や共働き世帯の増加によって、子どもを預ける施設の設置を求める声がありました。そうした中、閉鎖した支店の建物を利用して学童保育施設「児童クラブ」の運営にJAグループの中でも先駆的に取り組んでいます。

19年に2か所を開所したのち、現在は3か所の児童クラブを運営しています。月曜日から土曜日まで開所しており、小学1年生から6年生の児童が在籍しています。児童たちは宿題をしたり、おやつを食べて遊んだり、普段は接する機会が少ない学年の児童たちとも触れ合いながら、和気あいあいと過ごしています。職員は、「学校や家庭とは違う環境の児童クラブが、子どもたちにとってのびのびと過ごせる場所であってほしい」との思いで従事しています。

また、JAらしいイベントとして、バケツ稲づくりや季節の野菜の栽培、収穫した農作物を使った料理教室などの食農教育活動を企画しており、児童も楽しんでます。

児童クラブは、児童とその保護者にJAを身近



児童クラブでのびのびと過ごす児童たち

に感じてもらい、事業利用者を増やすきっかけになっています。学童保育を、地域ぐるみで子どもを育てるJAの活動として位置づけ、次世代とのつながり強化を目指しています。

<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

## 兵庫県生協連創立70周年記念 2020年度 兵庫県生協大会を開催

11月12日(木)、兵庫県民会館において、2020年度 兵庫県生協大会を開催し、75人が集いました。

主催者を代表して兵庫県生協連 木田克也会長理事が挨拶。引き続き、兵庫県 井戸 敏三知事より「生協は消費者の生活を守るとともにSDGsという目標の下、社会のあり方を作り上げていく活動である。70周年を契機に更なる展開をすすめることを心からお祈りします。」とご祝辞をいただきました。その後、神戸市 豊永 太郎経済観光局副局長より、生協への期待がこめられたご祝辞をいただきました。

続いて行われた表彰式では、長年にわたり生協の発展に寄与された3人の会員生協役員に生協功労者表彰として「兵庫県知事感謝」が贈られました。また、生協業務に精励した24人の役員・職員に「兵庫県生活協同組合連合会 会長表彰」が贈られ、会場からも大きな拍手が送られました。

ロビーでは、兵庫県生協連の歴史や発行物の展示を行い、70年を振り返りました。



兵庫県生協連会長表彰

<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>





# 旬に想う

写真と文  
遊方子



## 麻薬って何だ

◆「麻薬」という物は、害を齎らすと考えられて悪のイメージが非常に強い。ケシ栽培が法律で禁止されているのは、ケシの未熟果に傷をつけ滲み出す乳液を集め乾し固めると亜片（アヘン）になるため、この亜片からモルヒネを抽出し、さらに化学合成によりヘロインが出来る。外科治療で麻酔や鎮痛剤として使われるのがモルヒネだ。毒と薬の境界は実に曖昧で、人に害するものと益となるものの区分が難しい。コカインはコカノキの葉から採れるアルカロイド、南米ボリビアでは合法的に栽培され、お茶として高山病に効くので重宝しているという。日本では大麻や覚醒剤と同じ、所持する事も禁止で厳罰に処せられる。

◆麻薬は麻酔性と鎮痛作用を持つのが特徴、どれも脳内部へ働きかけて痛みや苦しみを麻痺させる。幻覚や幻聴を伴って脳に誤作動を起こさせ、結果的に多幸感に支配される。偽物の感情を引き起こし、溺れ込んで依存性中毒となる。その先に待っているのが人間廃業で、麻薬＝魔薬だ。黒澤明監督の『天国と地獄』に刑事らが麻薬窟へ潜入する場面がある。犯人がヘロインの効果を試すため、麻薬依存で禁断症状に苦しむ女を探してウロつく。その女を実に旨く演じた女優が富田恵子だった。物語の性格上、女優の出演者が極めて少ない。本場に麻薬が切れる時は、あんな苦しみだろうと思わせる出色の名演技であった。

◆植物図鑑のアサに「大麻」と漢字表記されている。麻の繊維を取る時は葉を取り除き、大きな釜で茹でて軟化、コルク層を除いて水に晒し繊維を採取する。木部はオガラとなり盆の迎え火として焚く習慣があった。麻は夏場の衣料として吸湿性に富み清涼感に優れた衣料となり多く栽培されていたが、今は栽培するのに免許が必要、法的規制で管理にも手が掛かって極めて少ない。大麻に陶酔感を起こす作用が知られ、米国では大麻を燻らすと反体制運動のシンボルとなったりし、大麻吸引を容認した形になっている。日本では厳しい罰則がある。

◆麻薬への依存症は、自分の意志では制御が難しい。酒（アルコール）や、煙草（ニコチン）にも依存性があり、嗜好品として身近にあるため罪作りな薬物だといえる。ニコチンは強力な殺虫剤にもなる危険な薬品で毒性が非常に強い。子供が誤飲すると大変な事になる。ニコチンの依存性発症は、麻薬や覚醒剤中毒と全く同じだ。そんな毒薬が煙草として平然と売られ、簡単に入手可能なのは異常な事だが、国税へ多大に貢献しており膨大な依存患者が存在し、直ちに製造・販売が中止出来ない。嗜好品という名の隠れ蓑をつけ、堂々と売られて周囲に副流煙を撒き散らしている。アルコールへの依存も似たような物であるが…。

## 大輪田塾だより

### 「なぎさ信用漁業協同組合連合会」 と「兵庫県の水産業」について

11月24日（火）、新たに入塾した16期生を迎え、大輪田塾が開講されました。

第一部の「なぎさ信用漁業協同組合連合会について」では、なぎさ信用漁業協同組合連合会 理事長 黒田 俊文氏及び融資課 中村 丈二氏より、これまでの貯金・融資といった系統金融事業に加え、高度な相談にも対応し漁業者・組合をサポートできる漁家経営相談機能について説明を受けました。

第二部の「兵庫県の水産業の概要について」では、兵庫県農政環境部水産課 望月 松寿副課長より、瀬戸内海と日本海の2つの海を持つ兵庫県の漁業種や漁業生産量の推移をはじめ豊かな海の再生にむけた活動内容について説明を受けました。

塾生は、系統信用事業の仕組みや漁村地域へより一層貢献するための取り組み、兵庫県下で営まれる漁業種類や栄養塩・水温など海の変化、豊かな海の再生に向けた様々な施策についての知識を得る有意義な講義となりました。



望月副課長による講義の様子



黒田理事長による講義の様子